

積み重ね つみ重ねても またつみかさね

令和3年4月15日 No. 3 文責：佐野紳二

第1回避難訓練を実施しました 自分の命は自分で守る子どもに

12日(月)に本年度1回目の避難訓練を実施しました。4月から新しい学年になり、新しい教室で過ごしているので、教室からの避難経路を確認することが一番の目的です。

訓練用の緊急地震速報の放送が流れた後、教頭先生の放送の指示で机の下にもぐり、その後、クラスごとに並んで、素早く校庭に避難しました。子どもたちは私語をすることもなく、真剣な表情で訓練に取り組むことができました。第1回目の訓練としては、十分に及第点をつけることができる訓練だったと思います。



10年前の東日本大震災以来、防災教育の重要性が改めて語られるようになってきました。実際に大きな地震が発生した時には、想定していないことが次々に起こることもあり得ると、過去の災害が私たちに教えてくれました。大切なのは、**その時の状況に応じて、自分自身の判断で自分の命を守るための行動ができること**だと言われています。もちろん、何の学習もなしにこうした行動ができるとは思えません。こうした訓練の機会を通して、「もし今、実際に地震が起こったとしたら…」と一人一人が考えて行動する習慣を身に付けることがとても大切です。大切な子どもたちの命をお預かりしている以上、有事の際には子どもたちの安全な避難のために我々教職員も全力を尽くしますが、それでも、だれかの指示や助けを待つ姿勢では、災害から逃れるのは難しいかも知れません。**自分の命は自分で守る**のが基本だと考えています。

学校では、これから何度かさまざまな想定での避難訓練を実施していきます。地震や火災などがあつたときにどのように行動したらよいかということについて、ご家庭でも話題にしていただけるとありがたいです。

外国語の授業 ALTのジェフ先生と一緒に学んでいます



先週の木曜日には本年度初めての外国語の授業がありました。6年生は多目的室でALTのジェフ先生、外国語担当の河野先生と学習を進めていました。積極的にコミュニケーションを図ってほしいです。

はじめての給食・みんなそろって「いただきまーす！」

先週は給食を食べずに半日で下校していた1年生ですが、12日(月)に小学校でははじめての給食でした。当番の仕方を担任の先生から教えてもらい、箸やスプーンの準備、おぼんの用意など、自分たちでできることは、早速、自分たちでやってみました。器に盛られたご飯やおかずをお盆にのせて運んでいくのは、1年生にとってはなかなか難しいことのようにでしたが、途中で落としてしまうこともなく準備ができました。

コロナ禍の中での給食なので、友だちとおしゃべりをしながら楽しく会食というわけにはいきませんが、それでも、1年生の子どもたちは初めての給食を嬉しそうに食べていました。ちなみに、1年生にとってはじめての給食のメニューは「マーボー丼、牛乳、中華サラダ、野菜チップス」でした。



交通安全教室 4つの約束をしっかりと守ろう

14日(水)には南アルプス警察署交通課のおまわりさんと、市の専門交通指導員さんをお招きし、1・2年生の交通安全教室を実施しました。

最初に、体育館で交通事故に遭わないための4つの約束(道路に飛び出さない・道路で遊ばない・右側を歩こう・横断歩道を渡ろう)を確認し、DVDで道路への飛び出しの危険性について確認したり、模型を使って「見て確認することの大切さ」を体験したりしました。

後半は外に出て、体育館で教えていただいた横断歩道の渡り方を、校門西側の横断歩道を使って実際に体験しました。「1・2・ストップ。右よし、左よし、右よし。わーたろ！」と、声を出しながら渡ってみました。みんなとっても上手に渡っていましたが、中には右側から車が来ているのに、習った通りに「右よし」と言ってしまう子がいたり…話を聞くだけでは学べないことを、実際の場面で学ぶことができました。

避難訓練同様、(あるいはそれ以上に)毎日の通学等で道路を歩くときの交通安全については「自分で安全かどうかを判断する」ことが大切です。ちょっとした油断が大きな事故につながることもあります。「自分の命は自分で守る」ことができるよう、家庭でのご指導もお願いいたします。

